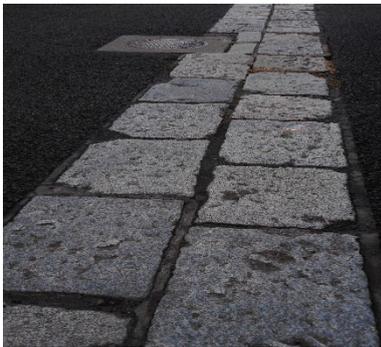


「自転車走行用の青の矢印」が路上に標示されました。

令和4年12月11日に、令和5年4月から、東北学院大学・五橋キャンパスの開校に伴い、1万人以上の学生、教職員が集約し、田町周辺の自転車利用者が増えることが予想されるため、田町周辺の三叉路の2か所に「自転車走行用の青の矢印」が路上に標示されました。



大日堂・境内の敷石を整備することにしました。



昭和51年（1976年）に、市電（路面電車）の廃止に伴い、線路内にあった敷石を希望する方に配布することになりました。

町内の有志が苦労して、約60個の敷石を運び込み、境内の通路として使用し、皆様に愛されてきた敷石です。趣のある昭和の雰囲気は漂っていましたが、亀裂が生じたり、駐車場として使用するには凸凹が目立ちはじめ、今回、敷石の整備を行うことにしました。

旧跡紹介コーナー

仙台三名園と言われた「清奇園」を訪ねて

町内にある仙台市福祉プラザの建物のそばに、小さな庭園があるのを皆様ご存知でしょうか。仙台三名園と言われた「清奇園」の一部です。以前は、ここに日赤病院がありました。病院建設予定地には、伊達家の家老山内氏が造園したとされる約三千坪の広大な日本庭園（清奇園）と三百数十年間続いていた武家屋敷があり、この屋敷は、伊達騒動で有名な正岡の局が、七二歳の当時としては高齢で終焉の地として選ばれたと言われている。その後、呉服商の大内源太左工門氏の所有となり、なかなか土地の売却を承諾しなかったが、大内氏は庭園を保存するという条件で応じたとされ、新病院は、中庭の見事な樹木群と大きな池を中心とした庭園の外側を囲むように建てられた。

現在は、仙台市福祉プラザが建っているが、庭園の一部は今でも残されている。

